

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控え室 TEL 740-1111 (内線4020)
直通FAX 759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760



国崎での広域ごみ処理施設の本格稼働(2009年)に向け、市は収集体制の見直し、粗大ごみの有料化を推進中です。市民の要望・意見をとりいれ、環境にやさしい合理的な収集体制が求められます。

三方一両損? 粗大ごみの有料化

6月議会で私(黒田)は、ごみの有料化について、「工夫をして工夫をして、仕方がないから有料化ではなく、まずは有料化ありきの安易な姿勢が問題」と指摘していましたが、10月23日の議員協議会に提案された「粗大ごみの有料化」計画は安易で、ずさんです。

試算では、有料化による収入

ムダとずさんな計画は改めよ



**市民の意見を取り入れ、
しっかいとした体制を
ごみ収集体制の見直し**

1400万円に対して、アルバイト雇用、シールなどの事務経費約700万円。くわえて、不法投棄が増えるための取り締まり強化と撤去作業の経費は「美化推進部としては、試算していない」。これでは、市民の負担増、不法投棄の増加、市の経費増の「三方一両損」になりかねません。(2007年(平成19年)度の市道等不法投棄処理事業予算は902万円)

戸別収集をやるべき

ごみ当番ができない事情の人やカラス被害などの問題を抜本的に解決するため、「できるところから戸別収集すべき」と主張してきました。「高齢者や障害者の方には対応していく」との答弁でしたが、さまざまな事情を考慮し、対応を強めるべきです。

収集体制

大きく変わるのは、週3回の一般ごみを週2日に、月2回のプラスチックを毎週収集にすること。プラスチックの毎週収集は市民の切なる要望です。が、「ペットボトル」「容器包装プラ」はこれまで通り資源化するものの、あらたに「その他プラスチック」を燃やすごみとするのは問題です。ダイオキシン問題や炉の事故などについて、「新炉では

市は理念と熱意を

ごみ収集体制の見直し計画について、市は市民の意見を募集しています。

それ自体、結構なことですが、募集期間が11月5日〜19日と短いなど、おざなり。本気で市民の意見を聞き、市と市民が協力して減量・リサイクル・合理的収集体制を確立するには、市の理念と熱意が求められます。「住民が主人公」の川西の街づくりのため、市民も声をあげましょう。

「粗大ごみの有料化」は、来年3月議会に条例提案されます。

**ゼネコンに「地元対策費」
恐喝・逮捕**

ごみ焼却場建設工事をめぐり、ゼネコンから「地元対策費」を脅し取るうとした2人を逮捕。他1人を捜査中。(11月12日付朝日新聞夕刊記事より)(産経新聞では、すでに現金受注の記述)

毎日テレビで「ごみ施設の疑惑」放映

「高すぎる土地代」で12月に判決

10月25日に毎日テレビ「ボイス」で、「1市3町広域ごみ処理施設の建設地の疑惑」が放送されました。

この間、たんぽぽだよりでもお伝えしていますが、「2億円以下の土地を10億円で購入」という、高額購入と税金のむだづかい、について住民裁判が起っています。

テレビでは、「必要面積の3倍以上、33.8畝もの購入はなぜ?」「なぜ、山林が1坪約10000円にも」「なぜ、鉛の汚染土壌なのに汚染なしとして購入。約1億4000万円の汚染土壌対策費用をかけているのか。」「33.8畝中、1億2000万円の抵当権のついた企業の土地を1億2000万円で購入。購入地が3倍になったのはそのためか」などの「疑惑」を放映。話題になっています。

いよいよ、12月19日(水)午後1時15分から神戸地方裁判所で判決。注目を。

「ごまめのはぎしい」

物事をはじめてすぐにやめてしまうことを「安倍しちゃう」と言うらしい。物事を「や〜めた」と放り出してすぐ「またやるわ」と言うのは「小沢しちゃう」と言うのだろうか(´・`)

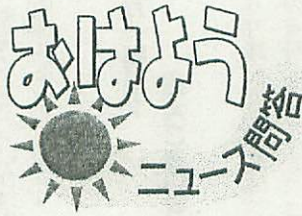
責任て何だろう?政治家は、誰のために政治をするのか? そんな当たり前の事がとても ぶれている。

いや、国民のため・・・と言うからややこしい。アメリカのため、企業のため・・・とはっきり言えばいい。

自分の保身のため、私利私欲のためと。



多紀連山・小金が岳にて



福田・小沢両党首会談が しめした問題点

志位委員長が会見



記者会見する志位和夫委員長＝8日、国会内

日本共産党の志位和夫記者会見し、福田康夫首相と小沢一郎民主党代表

日本共産党の志位和夫記者会見し、福田康夫首相と小沢一郎民主党代表による一連の党首会談の状況にあるが、七日の同党の記者会見で、志位委員長は、今後への影響について問われ、「端的にいうと二つの問題が示された」と指摘しました。一つは、民意に背く「大連立」の火種が残ったという問題です。志位氏は、「大連立」については、小沢氏が民主党役員会の反対を理由に「封印」した民・民主両党首の間で、

小沢代表が辞意を撤回したけれど

秋平 民主党は、小沢一郎代表が辞意を撤回し、続投することで落着いたように見えます。このころ、テレビのニュースも小沢一色だった。民意裏切るもの

秋平 まったくた。自民、民主両党のトップによる密室での会談は、昔の自民党型の談合政治に逆戻りしたと批判がでてくる。晴男 だいたい小沢さんは、この前の参院選を「自公政治」っていつてたじゃないか、それで民主党は議席を大きく増やしたんだろ。秋平 そう。本当なら託された国民の願いを裏切るために頑張るべきだ。それが一転、自民党との大連立を望むことし

秋平 福田首相との密談では、いつでも自衛隊を海外に派兵できるよとする恒久法についても



秋平 自民党、公明党にも大きな問題がある。参院選で示された国民の審判を受け止めるのではなく、大連立という都合で乗り切ろうとしたのだから。晴男 今度の騒動で、

秋平 参院選で示された国民の願いを実現することが分かった。共産党の志位さんが福田政権と正面から対決する共産党の頑張りよきといった

家族みんなで楽しく読める
赤旗日曜版
月々 800円



議論したという。民主党が大連立を拒否したのは当然だが、小沢氏は間違いを認めていない。そういう人物が代表を続けるのでは、国民の不信は解けない。晴男 民主党があの手この手で小沢さんに辞意をひるがえすよう促したのにもあきれたよ。党役員が何度も小沢さんを訪問したり、当選回数別に国会議員を集めて意見を聞いたり。へそをまげた神様の機嫌をとる「天岩戸」の神話に例える声もあった。

秋平 参院選で示された国民の願いを実現することが分かった。共産党の志位さんが福田政権と正面から対決する共産党の頑張りよきといった

憲法に背く自衛隊の海外参加は憲法違反であり、なっているこの動きに反対すること後のたたいの重要性をという危険な立場で一致はたいへん大事な課題に強調しました。志位氏は、この一致について「非常に危険な動きとして、警戒をほらいたい」と表明。「どういう理由であれ、海外への自衛隊の派兵、戦争への委員は八日の記者会見で延長を検討していること

海外派兵立法のための 会期延長に反対

日本共産党の志位和夫で、政府・与党側が会期延長に反対していること

志位氏表明
「新テロ特措法案という海外派兵法案をなにかんでも成立させるための会期の延長であり、私たちは絶対に反対だ。会期は予定通り（十日）で閉じて、法案は廃案にすべきだ」とのべまし

黒田みち 790-3055まで
(TEL & FAX)